

指定管理評価表(小田地区会館)

平成31年3月31日現在

施設概要	尼崎市立小田地区会館(尼崎市長洲本通1丁目15-38) 開館時間:9:00~21:00 休館日:毎週水曜日、年末年始 施設設置目的:市民の生活文化の向上と社会福祉の増進を図るための各種の研修、レクリエーション及び集会の場の提供 事業内容:小田地区会館の使用に関すること及び施設の維持管理			
指定管理者の名称	尼崎市都市美化推進企業組合			
指定期間	平成29年4月1日~平成31年3月31日			
業務概要	小田地区会館の維持管理業務			
利用状況等	項目名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
	貸室利用者数	80,509 人	82,438 人	85,528 人
	貸室稼働率	42.07 %	45.00 %	46.25 %
	自主事業開催数	65 回	52 回	50 回
	自主事業参加者数	1,776 人	1,470 人	1,731 人
所管課・所管課長名	市民協働局小田地域振興センター・藤川 芳伸			
評価対象期間	平成30年4月1日~平成31年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 サービスの質の維持・向上		A	自主事業は、当初の計画を基本に多様な事業を実施しており、好評を得ている。アンケート結果も、窓口対応や施設管理に対してもよい評価となっている。地域の子ども会等と協力しながら、イベントも実施している。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
2 適正な施設の管理		A	設備が老朽化しているなかで、利用者に支障が生じないよう施設の維持管理に努めている。また、危機管理マニュアルを作成し、AED取扱なども研修している。個人情報管理も適正であり、職員研修についても定期的に実施している。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
3 収支・経費節減		A	経費節減にも取り組み予算の範囲内で運営している。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか		
4 指定管理者の経営状況等		C	企業組合全体の利益剰余金は累積で赤字となっている。地区会館部門は黒字である。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
5 その他		A	書類や備品等は適切に管理されている。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
・利用者アンケートの実施 ・地域がつながるネットワークの発信元となるような自主事業の継続 ・新たな自主事業の実施	・利用者アンケートなどで接遇や管理運営にかかる積極的な改善に取り組んでいる。 ・子ども会との協働事業で、夏祭りを実施するなど、地域ニーズにあった事業展開をしている。 ・地域住民からの提案による新たな講座の実施をしている。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
B	会館利用率は、年々漸減傾向にある。原因は登録グループのメンバーの高齢化にあるものと推定している。参加者の減、回数の減などが見られる。 自主事業については、昨年度の事業を検証しつつ、利用者や地域住民のニーズにあった講座を実施するよう努めている。 法人全体としては依然赤字であるが指定管理業務としては黒字である。

※ 評価は、A~Eの5段階評価とする。
 ※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1~5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。
 ※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。
 D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。